

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

心が響きあう価値の創造。顧客の心のニーズに応え、喜びと感動に満ちた新しい価値のイノベーションに取り組む

売上高
18,000百万円

営業利益
1,000百万円

営業利益率
6%

② 中長期の経営戦略

1. 事業の仕組み抜本的見直し

事業アセットの絞り込みと本部・現場の生産性向上、顧客中心の店舗開発を実行

3. 未来計画Next推進

好立地への出店、新コンセプト業態開発、従業員リスクリング、新テクノロジー導入で高収益モデルへ転換

2. コア事業の深化と進化

扇屋を中心とした事業展開と扇屋改革により再成長を実現

4. 人財確保と育成強化

労働環境整備、公平な評価提供、多様な働き方支援で従業員エンゲージメント向上

③ 対処すべき課題

① 収益基盤の強化

- ・好立地への出店と新コンセプト業態開発
- ・従業員のリスクリングによる労働生産性向上
- ・新テクノロジー導入とオペレーション合理化

② 人口減少への対応

- ・多様な人財がそれぞれの個性と能力を発揮できる組織づくり
- ・労働環境整備と成長機会提供による組織活性化

③ 安全性とサステナビリティ

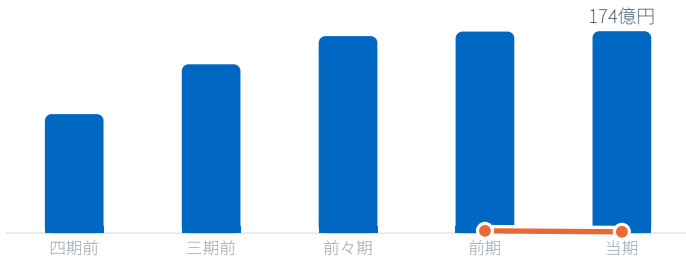
- ・品質管理と衛生管理体制の強化
- ・持続可能な調達と食品ロス削減の徹底

面接で使えるポイント

- ・2026年3月期に売上高18,000百万円、営業利益1,000百万円を目指す事業再生計画を推進中
- ・扇屋を中心とした事業展開により、コア事業の深化と進化による再成長に注力
- ・労働人口減少に対応し、未来計画Nextで新テクノロジー導入と多様な人財確保に取り組む

証券コード 7918

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
飲食店を展開する外食サービス事業を主力とする企業

主力事業・セグメント

- ・小売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
174億円営業利益率
▲0.4%財務健康度
10点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 36.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
582万円

小売業内 120位/318社

平均年齢
48.6歳

小売業内 28位/318社

平均勤続
14.3年

小売業内 86位/318社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：「備長扇屋」ヴィアHD、横浜銀行が7.6%株主に 26年3月

